

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社ランテック 湘南支店	階数	地上2F
建設地	伊勢原市歌川1丁目2-1,2-2	構造	S造
用途地域	工業地域・防火地域指定なし	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2022年7月21日
敷地面積	11,515㎡	作成者	(株)釣谷建築事務所
建築面積	3,262㎡	確認日	2022年7月22日
延床面積	5,905㎡	確認者	(株)釣谷建築事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

② 建築物の取組み: 46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③ 上記+②以外の: 46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④ 上記+: 46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

音環境	温熱環境	光・視環境	空気質環境
N.A.	N.A.	N.A.	N.A.

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

機能性	耐用性	対応性
N.A.	2.8	2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

生物環境	まちなみ	地域性・
2.0	4.0	2.0

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

建物外皮の	自然エネ	設備システ	効率的
5.0	3.0	3.9	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

水資源	非再生材料の	汚染物質
3.4	3.0	2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

地球温暖化	地域環境	周辺環境
3.6	2.4	3.4

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
新東名高速道路の厚木南インターから車で5分の工業地域に倉庫と事務所の複合用途のS造・2階建の建物を計画した。	-
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
-	敷地周囲を緑地帯とすることで景観に配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
BPI <sub>m</sub> =0.59、BEI <sub>m</sub> =0.71、LED照明設備を採用した。	適切な量の駐車スペース及び荷捌き用車両の駐車施設も確保している。周辺道路に渋滞緩和に資するものとして、大型車両待機駐車場も確保している。
<b>Q2 サービス性能</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>
休憩室は床ビニールシート貼t2.0、壁ビニール貼(PBT12.5+t9.5)、天井化粧石膏ボードt9.5とし、耐用年数の長い仕上げ材で計画した。	自動水栓に加え、節水型便器を採用した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される